

CO2簡易算定ツールのご案内

◆CO2排出量の算定や削減の取り組みが求められています！

- ・2015年12月にパリ協定が採択され、「地球の平均気温上昇を2℃より十分低く抑え、できれば1.5℃に抑える努力をする」という **2℃未満目標** が合意されました。
- ・企業にも **温室効果ガス排出低減の取り組み** が求められています。

こんなお悩みありませんか？

- ・CO2排出量削減に向けて取り組まないと今後、**競争で不利**になるかも…
- ・取引先やグループ会社から、**CO2排出量を開示するよう要請**を受けている…
- ・でも、**算定方法がわからない**…
- ・データを**集めるのも大変**…



◆手元にあるデータから、簡単に自社のCO2排出量をセルフチェックできます！

データ収集状況に合わせた5つの方法からCO2排出量を算定可能！

方法①
算定済みの数値

方法②
各拠点の敷地面積

方法③
決算書の水道光熱費

方法④
各エネルギー※の年間支出額

方法⑤
各エネルギー※の年間消費量

※重油、灯油、ガス（LPG、都市ガス）、ガソリン、軽油、電気



水道光熱費なら決算報告の時にまとめているので、「方法③」で算定しよう！

エネルギーデータの収集が出来るので、「方法④」や「方法⑤」で算定できそうだな…



付属の「簡易削減シミュレーションツール」で2030年までのCO2排出量の削減計画を簡単に策定出来ます！

CO2簡易算定ツールの特徴

ターゲット	中堅・中小企業
算定内容	Scope1 + 2相当※1
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・最新データのみ保存可 ・削減シミュレーションExcelにて管理
サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットボット、マニュアル提供 →コンサルタントの支援をご希望の方は、別メニューの「利用サポート」（有償）をご利用ください。

※1: Scope1: 自社での燃料使用等による直接排出
Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

他にもこんなメリットがあります！

- ・**電卓のように簡単に**算定できます！
⇒月次、年次の算定も簡単！
⇒データ管理や、削減計画の作成が可能な「簡易削減シミュレーションツール（Excel形式）」もご提供します！
- ・2023年度申込み分は**1年間に限り、お試して無料！**
2年目以降は6万円（税抜）※2

※2: 1アカウント1企業のご利用となります。
システム上でのデータの拠点間連携はできません。
契約満了の約1ヶ月前に、当社から継続意向の確認連絡を差し上げます。



ツールの詳細、お問い合わせは、裏面をご覧ください。

保険には、未来を変えるチカラがある。

事故発生前 予防

- 事故・災害を未然に防ぐ

事故発生時 補償

- お客さまのシーンに合った補償を提供

事故発生後 リカバリー

- 回復を支援する

算定画面



企業名: テストカンパニー ID: 00001

② Scope1及びScope2の算定

ここではScope1及びScope2排出量を、以下のいずれかの5種類の方法から、一つを選択して算定します。

- 1. すでに算定済で数値を把握している
- 2. 自社各拠点の敷地面積から概算する
- 3. 決算書の水道光熱費から概算する
- 4. 各エネルギーごとに年間の支出額を把握している (会計データ等)
- 5. 各エネルギーごとの年間消費量を把握している

▲データ入力画面

データ収集状況に合わせて、**3つのSTEPで簡単に算定できます!**



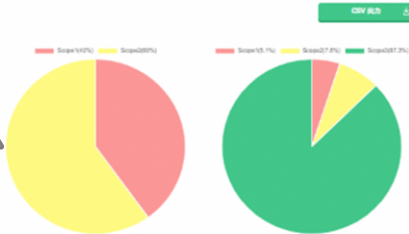
※一般的に2→3→4→5の順で算定精度が向上します。

算定結果

算定期間
2020年4月～2021年3月

スコープ	カテゴリー	CO2排出量 (t-CO2)	比率 (%)
Scope1		225.7	5.1%
Scope2		336.3	7.6%
Scope3	カテゴリー1	2,889.7	67.3%
排出量合計		4451.7	100%

Scope1とScope2の比率を円グラフで可視化します。



▲算定結果イメージ画面

算定結果の数値はCSVで出力でき、付属の「簡易削減シミュレーションツール」で管理可能です。

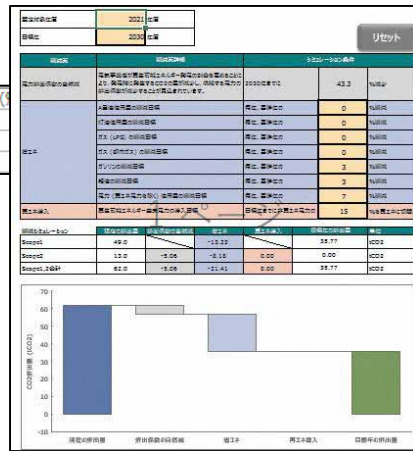
※海外拠点のCO2を算定される場合、電力の排出係数は国内平均を使用していることを前提にご利用下さい。

簡易削減シミュレーションツール

申込番号	更新日	産業区分	社員数	開始期間	終了期間	スコープ	カテゴリー	CO2排出量 (比率)
30	2022/12/1	漁業	1~49	2022/12/1	2022/12/31	Scope1		49
						Scope2		13
排出量合計								62

出力したCSVのデータを簡易削減シミュレーションツールに貼り付けると...

2030年までのCO2排出量の削減イメージをシミュレーションできます。



▲簡易削減シミュレーション結果イメージ画面

>紹介元：三井住友海上代理店

>三井住友海上オフィシャルHP

<https://www.ms-ins.com/solution/>
(補償前後のソリューション～提供価値の変革～)

こちらから
▶アクセス
できます



>ソリューション提供元

MS&ADインターリスク総研株式会社
<https://www.irric.co.jp/>

* MS&ADグループにおいてリスク関連サービス事業の中核を担っています。

本ソリューションは三井住友海上のご契約者さまに限らず、すべてのお客さまにご利用いただけます。

三井住友海上および代理店は、プライバシーポリシーに則り、個人情報を適正に取り扱います。本ソリューションにかかる契約に関連してソリューション提供元が取得したお客さまの個人情報を、お客さまの同意に基づき提供を受け、三井住友海上および代理店が取り扱う他のソリューションや商品（損害保険等）の案内、提供等に利用することがあります。取得する個人情報は、三井住友海上の委託先の米国に所在するサーバへ保存されます。